

Wireless Assistant Referee Flag



無線式アシスタントレフェリーフラッグ取扱説明書 品番 QF1010

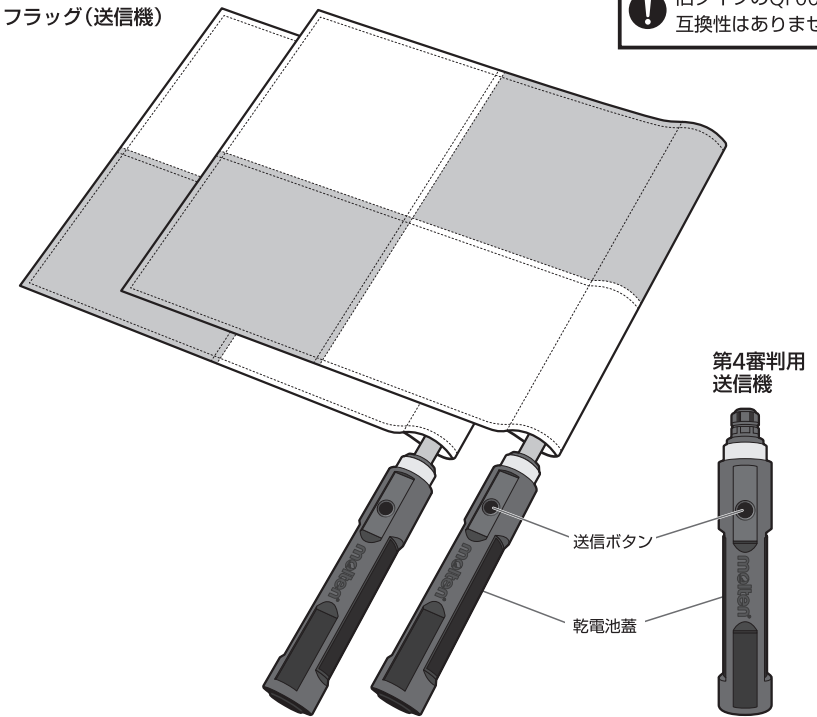
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。この取扱説明書はお使いになる方がいつでも見られる所に保管し、必要なときにお読みください。

各部の名称

梱包内容 フラッグ(送信機)2本、第4審判用送信機、シグナルボックス(受信機)、キャリングバッグ、シグナルボックス防水ケース、単4形アルカリ乾電池6本、単5形アルカリ乾電池2本、電池チェッカー、⊕ドライバー、乾電池蓋用予備ねじ2本、取扱説明書

❗ 旧タイプのQF0010との互換性はありません。

フラッグ(送信機)



無線式アシスタントレフェリーフラッグ(QF1010) 商品仕様

| | フラッグ(送信機) | 第4審判用(送信機) | シグナルボックス(受信機) |
|-------------|--|------------------------|------------------------|
| 送受信周波数 | 920MHz帯 | | |
| 送信出力 | 1mW | | |
| 到達距離 | 約100m(屋外障害物のないところ) | | |
| 電源 | 単4形乾電池×2本 | 単4形乾電池×2本 | 単5形乾電池×2本 |
| 電池持続時間 | 194試合(90分 5分毎5秒動作した場合) | 194試合(90分 5分毎5秒動作した場合) | 14試合(90分 5分毎5秒動作した場合) |
| ブザー鳴動時間 | 送信ボタン+1秒 | 送信ボタン+1秒 | 受信時間+1秒 |
| ブザー音量 | 60dB/10cm | 60dB/10cm | 100dB/10cm |
| 受信振動 | | | 0.8G |
| 使用/保管温度範囲 | 使用温度範囲: -10℃~+40℃ 保管温度範囲: -10℃~+60℃ | | |
| 防水性/雨天使用 | 簡易防滴(シグナルボックスは非防水なので付属の防水ケースに収納してお使いください。) | | |
| 寸法/質量(電池含む) | 旗41.5×36cm、長さ53cm、200g | 長さ19.5cm、130g | 幅4.6×高さ8.5×厚さ3.3cm、70g |

※製品の機能を維持するために必要な補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後7年です。
 ※品質向上のため予告なく仕様を変更することがあります。あらかじめご了承ください。

保証書

本保証書は下記の保証規定の内容により、無料で修理および調整を行うことお約束するものです。

| | |
|--|--|
| 品名(品番) 無線式アシスタントレフェリーフラッグ(QF1010) | お名前 |
| 保証期間 お買い上げ日より6か月 | ご住所 |
| お買い上げ日 | お電話番号 () - |
| 販売店名 | 発売元 株式会社 モルテン 東京都墨田区横川五丁目5-7 電話 03-3625-8302 www.molten.co.jp |

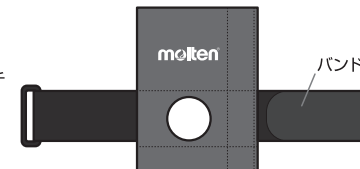
保証規定
 ■保証期間中に、お客様の正常なご使用状態で万一故障した場合は、本保証書に記載された保証規定に従い、無償で修理させていただきますので、製品と本保証書をご持参、ご提示の上お買い上げの販売店にご依頼ください。
 ※本保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
 ■この保証書は国内で使用される場合だけが有効です。
 This warranty shall be valid only in Japan.

■保証期間内でも、以下の場合は有償修理となります。
 1, 保証書のご提示がない場合 2, 保証書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、または字句を書き換えられた場合 3, 使用者側での輸送、移動時の落下などお取り扱いが適当でないために生じた故障、損傷の場合 4, 説明書に記載の使用法および注意に反するお取り扱い、または不良な修理や改造による故障、損傷 5, 火災、天災に要因がある場合

シグナルボックス(受信機)



防水ケース



ご使用になる前に

- 1, 付属の電池チェッカーで乾電池の残量を確認してください。
チェッカーの針がLOWを指したら乾電池を新品と交換してください。
- 2, フラグと第4審判用送信機の乾電池蓋のネジをはずして、単4形乾電池2本をセットしてください。
- 3, シグナルボックスの背面のネジをはずして、単5形乾電池2本をセットしてください。

❗ 乾電池の⊕と⊖を確認し、正しくセットしてください。

❗ 内部の電子部品には手を触れないでください。

使用方法

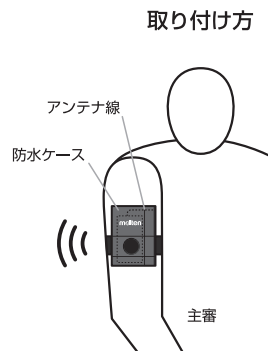
- 1, シグナルボックスの電源スイッチをONにしてください。
電源ランプが点灯し、ピー音が鳴り待機状態になります。

※乾電池の残量が少なくなると、電源ランプが点滅し始めます。
点滅開始から約60分後に電源が切れますので、
乾電池を新品と交換してください。

- 2, シグナルボックスを、防水ケースに入れて腕にバンドを巻き付けてください。

- 3, フラグまたは第4審判用送信機の送信ボタンを押している間、シグナルボックスのブザーが鳴り、振動します。

- 4, 使用が終わったらシグナルボックスの電源スイッチをOFFにしてください。



使用後のお手入れ

雨に濡れた場合は、水気を拭き取ってください。また乾電池蓋を開け内部を十分に乾燥させてください。

旗と防水ケースは軽く手洗いして、陰干ししてください。

▲ 使用、保管上の注意

- シグナルボックスは必ず付属の防水カバーに入れてお使いください。シグナルボックスに水がかかると故障の原因となります。
- 分解や改造をしないでください。
- ぶつかけたり、落としたりしないでください。
- 高温、多湿、結露する恐れのある場所での保管はしないでください。

▲ 乾電池に関するご注意

- アルカリ乾電池をお使いください。マンガン乾電池では寿命が短くなります。
- ⊕と⊖を正しく入れてください。
- 1か月以上使用しない時は、液漏れ防止のため乾電池を取り外してください。

故障かな、と思ったら 次の点をもう一度ご確認ください。

| 症状 | ご確認ください | 使用を再開するとき |
|----------|--------------------------------|------------------------------|
| 受信しない | ●シグナルボックスの電源スイッチがONになっていますか？ | ●ONにしてください。 |
| | ●（フラグとシグナルボックス）乾電池の残量は充分ありますか？ | ●乾電池を新品と交換してください。 |
| | ●乾電池の⊕⊖が正しくセットされていますか？ | ●正しくセットしてください。 |
| 感度が悪い | ●アンテナ線が正しく固定されていますか？ | ●使用方法の3,をご参照のうえ、正しく固定してください。 |
| 乾電池寿命が短い | ●マンガン乾電池を使っていますか？ | ●アルカリ乾電池をお使いください。 |
| | ●シグナルボックスの電源がONのままになっていますか？ | ●使用後はOFFにしてください。 |